

第1回経済理論学会奨励賞募集要項

2010年2月28日

経済理論学会奨励賞選考委員会
鶴田満彦、八木紀一郎、山口重克
稲富信博、中谷武、有井行夫（委員長）

2009年11月22日の会員総会で「経済理論学会奨励賞にかんする規則」が決定され、それにもとづいて「奨励賞選考委員会」が成立しました。なお、この賞の選考についての詳細は、幹事会で決定され、総会でも報告・紹介された「選考にかんする細則」によることとされていますので、応募の際にはそれをご参照ください。

つきましては、第1回の奨励賞の対象となる会員の著作を募集しますので、多数の応募をお待ちします。

1. 選考対象

募集締め切り時を基準に過去3年以内（今回の場合、2007年6月1日－2010年5月31日）に公表された著作（論文、著書）で、公表時点においてその著者が経済理論学会の40歳以下の会員であるもの。

なお、上記の期間内に『季刊経済理論』に掲載された、上記の応募資格をみたく論文は自動的に選考対象となります。

2. 応募方法

自薦または他薦による。応募者または推薦者は、推薦対象の著作2部（コピーも可）を「推薦理由書」とともに選考委員会に送付する。

「推薦理由書」は、学会のホームページからもダウンロードできます。

3. 受付期間と応募宛先

2010年5月1日から5月31日（締切日消印有効）

〒154-8525
東京都世田谷区駒沢 1-23-1
駒澤大学経済学部有井行夫研究室内
経済理論学会奨励賞選考委員会

4. 授賞

2010年10月23日、会員総会（予定）で公表し、賞状と副賞（賞金）を与える。

経済理論学会奨励賞推薦理由書

年 月 日 受付 受付番号

推薦者	(自薦・他薦)
推薦著作*	公表形態(書籍、雑誌論文、書籍収録論文、その他)、 公表時期(年 月)
著者*	推薦著作公表時 満()才で会員籍があった**
推薦理由	
推薦著作の評価にあたって留意すべき点	

* 対象となる著作および著者の資格条件の詳細は「規則」および「細則」を参照。

**この情報は、正確を期するため選考委員会から著者会員に照会しますので、記載を省略してかまいません。